

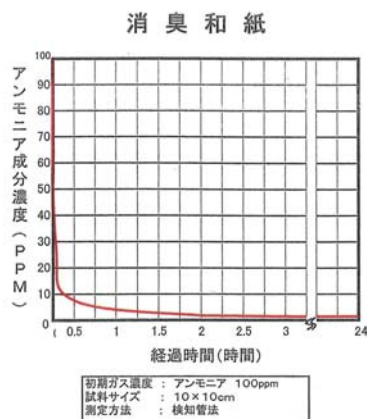
高性能消臭和紙の開発

福井県越前市大滝地区(旧今立町)は、1500年前から和紙の製造が盛んで「越前和紙の里」と呼ばれています。この地区に本社を構える石川製紙(株)は、平成21年度成果展開事業で、「高性能消臭和紙」を開発しました。



消臭和紙のサンプル品
(ロール幅 960mm 100g/m²)

現在、家庭で使用されている消臭商品は、活性炭やカテキン(茶葉よりの抽出物等)を除き、化学合成消臭剤が多く使用されていますが、消臭効果が比較的小さく、ほとんどが消臭期間も短いものが多く、また天然素材である活性炭を使用した消臭商品などは、冷蔵庫の中で使用されていますが、大型でかさばり、高価なうえ、リサイクルができません。



ヨウ素を利用した商品です。
ヨウ素の消臭効果で、イヤな臭いをすぐに分解し、消臭します。

消臭試験結果 (アンモニアの場合)

そこで、即効性がある消臭剤と天然繊維の和紙とを組み合わせ、これらの定着剤として、**原子力機構の特許「高吸水性ハイドロゲル」**を活用し、消臭効果と持続性が大きく、更に再利用できるなどのリサイクル性を付与した比較的安価で、軽い高性能の家庭用消臭和紙を開発しました。



消臭試験 (冷蔵庫内・車内・トイレ内・下駄箱内)

共同特許申請

平成22年3月31日

「高性能消臭和紙およびその製造方法」

石川製紙株式会社
福井県越前市

平成21年度 成果展開事業



原子力機構